【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-514238(P2005-514238A)
【公表日】平成17年5月19日(2005.5.19)
【年通号数】公開・登録公報2005-019
【出願番号】特願2003-558061(P2003-558061)
【国際特許分類】
*Ｂ３２Ｂ　25/08　(2006.01)*
*Ａ４１Ｄ　19/04　(2006.01)*
*Ｃ０８Ｇ　18/65　(2006.01)*
*Ｃ０８Ｇ　18/73　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｂ３２Ｂ　25/08
Ａ４１Ｄ　19/04　Ａ
Ｃ０８Ｇ　18/65　Ｗ
Ｃ０８Ｇ　18/73　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年10月12日(2005.10.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
湿潤状態及び乾燥状態での着用性をもつエラストマー性物品であって、前記物品が、
エラストマー性材料で作られた層を含み、内側表面及び外側表面を有する基体と、
前記基体の前記内側表面の上にあり、水溶性ポリウレタンから形成されたドーニング層であって、ハロゲン化された前記ドーニング層と、
前記ドーニング層を被覆し、シリコーン・エマルジョンから形成された潤滑剤と、
を備えることを特徴とするエラストマー性物品。
【請求項２】
前記水溶性ポリウレタンが、ポリウレタンプレポリマーを連鎖延長剤と反応させることによって形成されることを特徴とする請求項１に記載のエラストマー性物品。
【請求項３】
前記プレポリマーが、ポリイソシアネートをポリオールと反応させることによって形成されることを特徴とする請求項２に記載のエラストマー性物品。
【請求項４】
前記ポリオールがポリエステルポリオールであることを特徴とする請求項３に記載のエラストマー性物品。
【請求項５】
前記ポリイソシアネートが脂肪族ポリイソシアネートであることを特徴とする請求項３に記載のエラストマー性物品。
【請求項６】
水可溶化化合物を前記ポリオール及び前記ポリイソシアネートとさらに反応させて、前記ポリウレタンプレポリマーを形成することを特徴とする請求項２～５のいずれか１項に記載のエラストマー性物品。

【請求項７】
前記連鎖延長剤が、有機アミン、無機アミン、又はこれらの組み合わせを含むことを特徴とする請求項２～５のいずれか１項に記載のエラストマー性物品。
【請求項８】
前記水溶性ポリウレタンがカルボキシル化されている特徴とする請求項１～７のいずれか１項に記載のエラストマー性物品。
【請求項９】
前記水溶性ポリウレタンがカルボキシル化脂肪族ポリエステルポリウレタンである特徴とする請求項８に記載のエラストマー性物品。
【請求項１０】
前記水溶性ポリウレタンが、約１重量％から約１０重量％までの固形分を有することを特徴とする請求項１～９のいずれか１項に記載のエラストマー性物品。
【請求項１１】
前記ドーニング層が、約０．５マイクロメートルから約２０マイクロメートルまでの厚さを有することを特徴とする請求項１～１０のいずれか１項に記載のエラストマー性物品。
【請求項１２】
前記シリコーン・エマルジョンが、アミノ基、カルボキシル基、ヒドロキシル基、エーテル基、ポリエーテル基、アルデヒド基、ケトン基、アミド基、エステル基、チオール基、及びそれらの組み合わせからなる基から選択された少なくとも１つの官能基を有するポリシロキサンを含有することを特徴とする請求項１～１１のいずれか１項に記載のエラストマー性物品。
【請求項１３】
前記シリコーン・エマルジョンが、約０．１重量％から約１０重量％までの固形分を有することを特徴とする請求項１～１２のいずれか１項に記載のエラストマー性物品。
【請求項１４】
前記基体の前記エラストマー性材料が、天然ゴムラテックスであることを特徴とする請求項１～１３のいずれか１項に記載のエラストマー性物品。
【請求項１５】
前記潤滑剤が界面活性剤をさらに含むことを特徴とする請求項１～１４のいずれか１項に記載のエラストマー性物品。
【請求項１６】
請求項１～１５のいずれか１項に記載されているエラストマー性手袋。
【請求項１７】
基体と前記基体の内側表面の上にあるドーニング層と前記ドーニング層を被覆する潤滑剤とを含むエラストマー性手袋の湿潤状態及び乾燥状態での着用性を向上させる方法であって、前記方法が、
手形状のフォーマを準備し、
前記手形状のフォーマを、エラストマー・ポリマーを含む浴内に漬けて、前記手袋の前記基体を形成し、
前記手形状のフォーマを、水溶性ポリウレタン溶液内に漬けて、前記手袋の前記ドーニング層を形成し、
シリコーン・エマルジョンを塗布して、前記手袋の前記潤滑剤を形成する、
段階を含むことを特徴とする方法。
【請求項１８】
前記手形状のフォーマが、前記水溶性ポリウレタンを含有する浴内に漬けられる前に、前記エラストマー・ポリマーを含有する浴内に漬けられることを特徴とする請求項１７に記載の方法。
【請求項１９】
前記手形状のフォーマが、前記エラストマー・ポリマーを含有する浴内に漬けられる前

に、前記水溶性ポリウレタンを含有する浴内に漬けられることを特徴とする請求項１７に記載の方法。
【請求項２０】
前記ドーニング層をハロゲン含有化合物に露出させる段階をさらに含むことを特徴とする請求項１７～１９のいずれか１項に記載の方法。